

冬のクマゲラ採餌木とその見分け方

クマゲラは北海道と東北の一部のみに生息するキツツキ（写真-1）で、生息環境として大きな木と広い森林が必要なことから北海道の森林を象徴する鳥の一種であるといえます。地上付近でアリをはじめ昆虫などを採餌することの多いクマゲラにとって、冬は生息条件が厳しくなります。生息条件の厳しい冬の採餌環境を明らかにし、クマゲラの生息環境に配慮した森林管理に役立つ研究を進めています。

冬のクマゲラの採餌木を調べると、クマゲラは様々な木から餌を得ていることがわかりました（写真-2）。また、食痕部や木くずに残るくちばし痕を測定することによりクマゲラの採餌木であることがほぼ特定できることがわかりました。くちばしは先が細く元が太い形をしているので、つつき方によりくちばし痕の大きさは変わりますが、くちばし痕を複数測定して、幅5mm以上のものが多ければクマゲラ（写真-3）、3mm程度のものが多ければオオアカゲラと判定されます。オオアカゲラはクマゲラより小さなキツツキですが、時には大きな採餌痕を残します（写真-4）。ただし、オオアカゲラとクマゲラが同じ木で採餌する観察例があるので、採餌木の保全を考える上で必要以上に両種の採餌痕を分けることはないと考えられます。

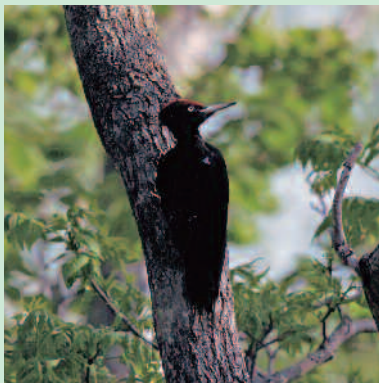


写真-1 クマゲラ
(伊藤氏撮影)



写真-3 クマゲラのくちばし痕 (カラマツ)



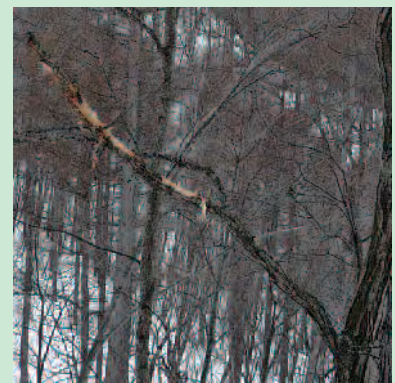
写真-4 オオアカゲラの採餌痕 (シラカンバ)



① 生きている木の幹に大きな穴を開け、中で越冬しているアリを食べたもの(トドマツ)



② 比較的新しい枯木の樹皮を剥いで樹皮の下の虫を食べたもの(カラマツ枯木)



③ 広葉樹の太い枯枝にいる虫を食べたもの(ミズナラ枯枝)

写真-2 クマゲラの採餌痕

(保護グループ)

林業試験場 本 場 TEL 0126-63-4164 FAX 0126-63-4166
道南支場 TEL 0138-47-1024 FAX 0138-47-1024
道東支場 TEL 0156-64-5434 FAX 0156-64-5434
道北支場 TEL 01656-7-2164 FAX 01656-7-2164
ホームページ <http://www.fri.hro.or.jp/>

発行年月 平成22年9月
発 行 地方独立行政法人
北海道立総合研究機構
森林研究本部 林業試験場
〒079 0198 美唄市光珠内町東山